

# 漁況予報 いわし

## 第162号

2010年11～12月漁期  
(2010年11月12日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は9月が1トン、10月が2トン（速報値）であり、両月とも不漁だった前年（9月10トン、10月9トン）をさらに下回り、平年（9月116トン、10月58トン）を大きく下回りました。

一方、佐島地区のまき網は、9、10月とも小羽～中羽および大羽マイワシの好漁が継続しました。これまでの知見から、これらは0歳魚（2010年級）と1歳魚（2009年級）が主体と考えられます。

太平洋のマイワシ2010年級群は、(独)水産総合研究センターがこれまでに実施した調査結果から、2008、2009年級群以上に資源豊度が高いと推定されています。今後、越冬のため南下した沖合域の0歳魚が、1歳魚以上の群と合わせて相模湾に来遊し、湾内に留まっていた群とあわせて漁獲されることが期待されます。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は9月が2トン、10月が2トン（速報値）で、両月とも不漁だった前年並み（9月5トン、10月2トン）であり、平年（9月128トン、10月19トン）を大きく下回りました。

魚体は、6～7cmの未成魚（0歳魚／2010年級）が主体でした。

佐島地区のまき網は、9月には散発的に餌イワシとしての漁獲があったものの極めて不漁で、つづく10月もほとんど漁獲がありませんでした。

太平洋のカタクチイワシ2010年級群は、(独)水産総合研究センターがこれまでに実施した調査結果から、資源豊度が中～低水準と推定されています。

近年、沖合より来遊したと考えられる群が12月頃から漁獲される傾向にありますが、上記のような状況から今漁期のまとまった漁獲はあまり期待できないでしょう。

#### 【しらす】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量（標本船データより推定）は、9月は前年、平年を下回り（前年比0.3倍、平年比0.7倍）、つづく10月は好漁だった前年をやや下回ったものの、平年をやや上回る漁獲量でした（前年比0.9倍、平年比1.2倍）。湾東部の漁場では、9月中旬から一時的に漁模様が悪化しましたが、10月中旬の暖水波及後に回復しました。

今後は例年どおり、ゆるやかに漁獲が減少しつつ終漁になるでしょう。

### ＝ 予報 ＝

#### 【まいわし】

今漁期は、今年生まれの中羽マイワシが主体で、あわせて1歳以上の大羽マイワシも漁獲されるでしょう。

今漁期の漁獲量は、8～9月の常磐・房総海域におけるマイワシの資源状況から、約1,200トンと予測されます。

\*縦軸：主要定置網+まき網

#### 【かたくちいわし】

今漁期は、体長9cm未満の未成魚が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は9～10月の県内主要定置網の漁獲量から、約17トンと予測されます。

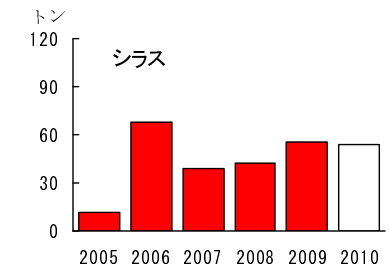
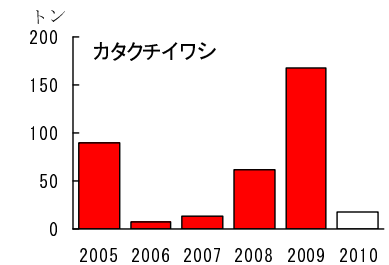
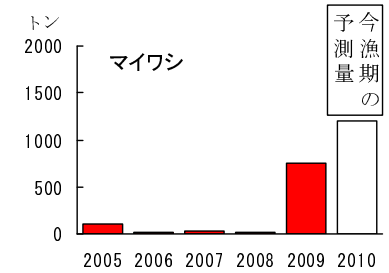
\*縦軸：主要定置網+まき網

#### 【しらす】

今漁期は、9～10月に発生したカタクチシラス（カタクチイワシの仔魚）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、10月の漁獲量から、約54トンと予測されます。

過去5年の11・12月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



神奈川県水産技術センター資源環境部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313